

協働のまちづくりは地域から

幌別鉄南地区連合町内会は、活動の拠点である鉄南ふれあいセンターや老人憩の家『永和園』周辺の草刈作業を行いました。この日は、各町内会から集まった約20人が数台の草刈り機を使い、約1時間かけて作業を実施。地域の行事や集まりなどが開催されるこれらの施設は、地域住民の憩いの場となっています。

幌別鉄南地区連合町内会

会長 森 芳昭



まちの玄関に彩りを

JR幌別駅周辺の町内会と登別建設協会は、同駅西口広場の花壇にマリーゴールド・サルビア・ペコニアなどの花の苗、約3千株を植えました。

「きれいな花を咲かせたい」と思いを込め、約70人の参加者が丁寧に作業。同地区の連合町内会が維持・管理を行い、美しい花壇が駅の利用者や道行く人たちの心を和ませています。

市連合町内会環境衛生部会

部会長 竹中 脩敏



日々使用する場所だからこそ

新生町内会は、町内会活動や老人クラブなどで利用する機会が多い老人憩の家『新生虹の家』で、火災避難訓練を実施しました。調理室付近からの出火を想定した今回の訓練。消火器を使用した初期消火や緊急事態に対する心構えなどについて、市消防職員から説明を受けたほか、避難経路を再確認し、いざというときのための備えとしました。

新生町内会

会長 大屋敷 俊裕



久しぶりのサロン活動

驚別2丁目町内会は、マスクの着用や検温、互いに距離を保つなどの対策をとって、5カ月ぶりにサロン活動を再開しました。

地域包括支援センターの職員による講話のほか、手ぬぐいを使った体操や輪投げなどのゲームでストレスを発散しながら、参加した24人は久しぶりの再会を楽しんでいました。

驚別2丁目町内会

会長 原田 敬三

